



### 岩村ふれあいセンターへ避難訓練

#### 非常食・カレーの試食と防災DVDを体験

9月3日(日)、岩村防災連合準備会主催の「岩村地区の避難訓練」が開催されました。

当日、12時のサイレンを避難開始サイレンと想定して、岩村地区の指定避難所である岩村ふれあいセンターへ向け

て、各地区から住民の皆さんが避難してきました。到着後順次、本番を想定して「避難カード」に記入してもらい、ふれあいセンター内では「非常食」のカレーを試食していただきました。その後、高知県制作の南海トラフ地震対策

啓発ドラマ「その日、その時」を鑑賞して、地震の怖さを体験しました。

避難訓練は自分の命は自分で守る意識と、繰り返し訓練が大事だと言われています。この日は、「緊急持ち出し袋」を持って避難された方はわずか3名でしたし、参加者は約160名(住民の6%)でした。住民の50%が常に参加する地区(高松市三谷地区)もあり、今後とも繰り返し訓練で非常時に備えたいものです。(編集部)

岩村防災連合会準備会とは

- 岩村公民館
  - 包末自主防災会
  - 金地自主防災会
  - 福船自主防災会
  - 堀の内自主防災会
  - 岩村消防団
  - 岩村社会福祉協議会
  - 日赤岩村分区分・分団
  - 岩村地区民生委員3名
- で構成しています。



おこし休みでは、神事後、各部落から選出された、お供の子供たちにおもちが配られました。

### 神奈地祇神社で秋の大祭

10月24日(火)、神奈地祇神社で秋の大祭が行われ、神社から福船の「おこし休み」まで、お神輿のおなばれ(ご神行)が、ほら貝と太鼓の響く中、厳粛に行われました。

今年の担当は福田部落でした。前日は伝統の「起こし太鼓」の儀式を若い衆(?)約20名が4台の軽トラに分乗して、「五穀豊穣」「家内安全」を祈願して岩村中を朝方(4時前)まで周りました。

## 観て食べて遊んで、癒された一日 津野町ぶらり旅

### 公民館の移動学習

6月23日、梅雨の晴れ間の中「津野町ぶらり旅」に総勢22名で行ってきました。

今回は、事前のコース紹介があったことと、同じ高知県でもあまり行った



津野町の郷土資料館

明治維新の先駆け、天誅組を組織し、倒幕に命を燃やした土佐4傑の一人である吉村虎太郎の生家。平成27年6月に復元された。



ことのないところだったかもしれませんが、最近にない満車で出発することができました。途中の「道の駅かわつその里」では少しの休憩時間を利用して、早くも野菜等の買い込みをした参加者もあり、「しょうあいなえ」などと買い物を楽しんでいました。

その後、津野町「郷土資料館」で、戦国時代の領主津野氏に関する史跡、日常生活で使っていた

た農具や民具などを見学した後、今回のメインになったかもしれませんが、昼食を「四万十源流センターせいらんの里」で楽しみました。

地域(船戸地区)のおかあちゃんたちが腕をふるって作った料理をバイキング方式でいただき、また四万十川の源流点米をかま

どで炊く「羽釜ごはん」も大人気で、みんな大喜びでした。昼食後は、高知へも店を出している「満天の星」へ立ち寄った

後、土佐の四傑の一人と言われ、明治維新に大きく貢献した「吉村虎太郎」の生家へ行き、その生涯と功績に触れることができました。

帰路は、最近オープンしたJA土佐くろしお直営の産直市「土佐くろしお村営とさつ子広場」(須崎市)へ立ち寄り最後の買い物を楽しみました。

雨もなく最高の移動学習で、皆さん癒された一日になったことでしょう。

(寄稿者・福船 田所秀二)